※令和４年度以降入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅠ①	2	1	Amity English Communication I 開隆堂　出版 Amity English Communication I ワークブック 開隆堂　出版

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語コミュニケーションⅠの授業は、「聞くこと」、「話すこと（やり取り、発表）」、「読むこと」、「書くこと」という４技能５領域の力をつける授業である。聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行う。
・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習しよう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・決まった表現でゆっくりはっきりと話された天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、内容を理解することができる。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、駅や空港などの短いアナウンスについて自分に必要な情報を聞き取ることができる。	・５０語程度の英文を後戻りすることなく一定時間内に黙読して要点を理解したのち、適切なポーズを伴い音読することができる。 ・簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や伝記などを理解することができる。	・日常的な挨拶ができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについて簡単な語や表現を用いてやり取りをすることができる。 ・相手のサポート（ゆっくり話したり、繰り返したり、簡単な語句に言い換えるなど）があれば、ごく身近なトピックについて、簡単な語句や表現を使って質疑応答をすることができる。	・日常生活で必要な基本的な情報を、簡単な語や表現を用いて他者に伝えることができる。 ・身近なトピックや出来事について、事実、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて短く話すことができる。	・自分のことや学校、地域のことなどの簡単な紹介文を書くことができる。 ・簡単な語や基礎的な表現を使いながら、and、but、because などで文と文をつないで、日記や説明文などまとまりのある文章を書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めると共に、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	Pre-Lesson “Get Ready” Lesson 1 “The Beautiful Scenery” Lesson 2 “My Best Friend”	聞くこと	a: 英語の音声の特徴（リズム、イントネーション）を理解している。 b: 日常的な話題（好きなもの、出来事など）について、必要な情報を聞き取っている。 c: 日常的な話題（好きなもの、出来事など）について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	ペア・ワーク 小テスト 定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 身近な話題（好きなもの、出来事など）に関する話題について書かれた文章を読んで、概要を捉える技能を身につけている。 b: 身近な話題（好きなもの、出来事など）に関する話題について書かれた文章を読み、概要を捉える。 c: 身近な話題（好きなもの、出来事など）に関する話題について書かれた文章を読み、概要を捉えようとしている。	小テスト、課題 定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 相づちを打ったり聞き直したりするなど、コミュニケーションを円滑にするための言語の働きを理解している。 b: 日常的な話題（好きなもの、出来事など）について、基本的な語句や文を用いて対話している。 c: 日常的な話題（好きなもの、出来事など）について、基本的な語句や文を用いて対話しようとしている。	ペア・ワーク 小テスト 定期考査 （スピーキング）
		書くこと	a: 自分のことや身の回りのものを紹介するために必要な書く技能を身につけている。 b: 自分のことや身の回りのもの（持ち物など）について簡単な語句や文を用いて書いている。 c: 自分のことや身の回りのもの（持ち物など）について簡単な語句や文を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	小テスト、課題 定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson 3 “Love for Dance” Lesson 4 “Endangered Species” Lesson 5 “The History of Chocolate”	聞くこと	a: 考えや意図を伝える表現（「提案」「承諾」「断り」など）の特徴や決まりに関する事項を理解している。 b: 日常的な話題（習慣、課題など）に関する会話やなじみのない歴史などを聞き、話の展開や話し手の意図を把握している。 c: 日常的な話題（習慣、課題など）に関する会話やなじみのない歴史などを聞き、話の展開や話し手の意図を把握しようとしている。	ペア・ワーク 小テスト 定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 情報を事実と意見に整理する技能を身につけている。 b: 日常な話題（習慣、課題など）に関する文章の展開や書き手の意図を把握している。 c: 日常な話題（習慣、課題など）に関する文章の展開や書き手の意図を把握しようとしている。	小テスト、課題 定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 時間や場所を表す語句などの意味や働きを理解している。 b: 日常的な話題（習慣、課題、知識など）について、基本的な語句や文を用いて話している。 c: 日常的な話題（習慣、課題、知識など）について、基本的な語句や文を用いて主体的に話そうとしている。	ペア・ワーク 小テスト 定期考査 （スピーキング）
		書くこと	a: 時制、助動詞、to+不定詞、動名詞の形式や意味、使い方を理解している。 b: 日常的な話題（習慣、課題など）について、簡単な語句や文を用いて書いている。 c: 日常的な話題（習慣、課題など）について、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	小テスト、課題 定期考査 （ライティング）
	期末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度